

東京工業品取引所の
取引システム

2012年 1月

株式会社 東京工業品取引所

東京工業品取引所の新取引システムの導入について

株式会社東京工業品取引所では、2009年5月7日より新取引システムを稼働いたしました。当取引システムは、NASDAQ OMX社の取引・清算パッケージソフトを採用し、NTTデータとの協力体制の下に開発されたものです。

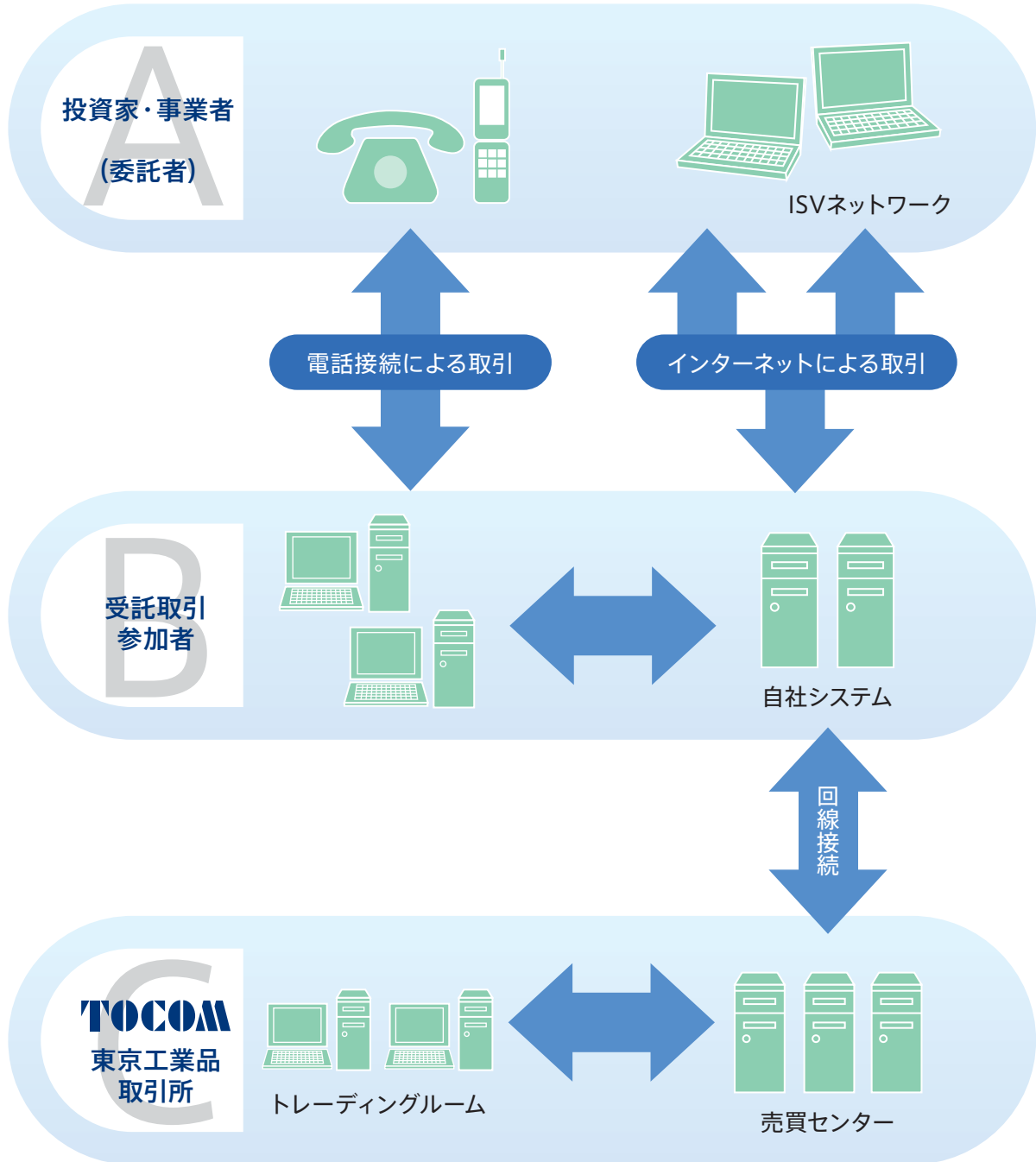
注文レスポンスタイムは 10ms(ミリ秒)、1秒あたりの最大注文件数は 1000件、1日の最大注文件数は 500万件、1日の最大約定件数は 185万件等と世界最高水準の性能を備えた取引システムです。また多様化する事業者や投資家の売買ニーズに対応するため、多様な注文の種類や国内外の主要取引所で導入されているサーキットブレーカー制度などの国際標準の機能を装備しています。

この新取引システムの稼働と、併せて開始した夜間取引により、当社市場の利便性、信頼性が一層向上しております。今後、より多くの投資家の皆さま、あるいは当業者の皆さまが、当社市場をご利用して頂けるものと確信しております。当社は、アジアの中核的なデリバティブ取引所としての地位の確立を目指すとともに、世界のデリバティブ市場における地位を一層強化してまいります。



商品先物取引は、元本が保証されているものではなく、
価格の変動により損失が生じることもあります。

取引システム概要図



当社の取引システムは当社と受託取引参加者・市場取引参加者の間 (B～C) におけるシステム構築を基本としています。
受託取引参加者と委託者間 (A～B) では各受託取引参加者固有のシステムが構築されています。

目次

1	立会と計算区域	1
2	売買仕法	5
3	取引締結に関するルール	7
4	売買注文	11
5	サーキットブレーカー制度	17
6	帳入値段の決定ルール	20
7	相場情報の配信等	21

1 立会と計算区域

(1) 立会時間と注文受付開始時刻

当社の立会には「日中立会」と「夜間立会」とがあります。

それぞれの立会時間と注文受付開始時刻は、次のようになっています(カッコ内は注文受付開始時刻)。

	日中立会	夜間立会
貴金属市場	(8:30~) 9:00~15:30	(16:45~) 17:00~4:00
石油市場		
中京石油市場		
アルミニウム市場		(16:45~) 17:00~19:00
ゴム市場		
日経・東工取商品指数市場		

なお、受託取引参加者(商品先物取引業者)の方針により、委託者から注文を受け付ける時間が当社の立会時間と異なる場合もありますので、ご注意ください。



(2) 立会スケジュール

日中立会の開始時(9:00)および夜間立会の開始時(17:00)に、全商品、全限月、オプションの全シリーズの取引が一斉に開始されます(「板合せ仕法^{*1}」による取引の締結)。その後、立会終了時刻まで継続して取引が行われます(「ザラバ仕法^{*2}」による取引の締結)。

要件	時刻	注文受付	立会	相場情報
オンライン開始	8:00			
日中注文受付開始	8:30	開始		
日中立会開始(板合せ) (ザラバ)	9:00		開始	
日中注文受付終了	15:30	終了		
オプション権利行使申告の割当て	15:45			
	16:00			
夜間注文受付開始	16:45	開始		
夜間立会開始(板合せ) (ザラバ)	17:00		開始	
ゴム夜間注文受付終了 (ゴムの夜間立会終了)	19:00			
ゴム以外夜間注文受付終了	4:00	終了		
オンライン終了	4:35			

※1:「板合せ仕法」⇒ P5. 売買仕法(1) 板合せ仕法を参照

※2:「ザラバ仕法」⇒ P5. 売買仕法(2) ザラバ仕法を参照

(3) 計算区域

計算区域とは、取引の「値洗い」^{※1}のために計算領域を一つに区切るものです。

値洗いとは、それぞれの建玉(たてぎょく)の損益を毎営業日、計算することです。

取引の1計算区域は、「前営業日の夜間立会(17:00～)＋当日の日中立会(～15:30)」となります。したがって、1計算区域の終了は日中立会終了時となり、1計算区域の「帳入値段」^{※2}は日中立会終了時に設定されます。このことから、1計算区域では夜間立会の暦日と日中立会の暦日が異なることに注意してください。

<例>

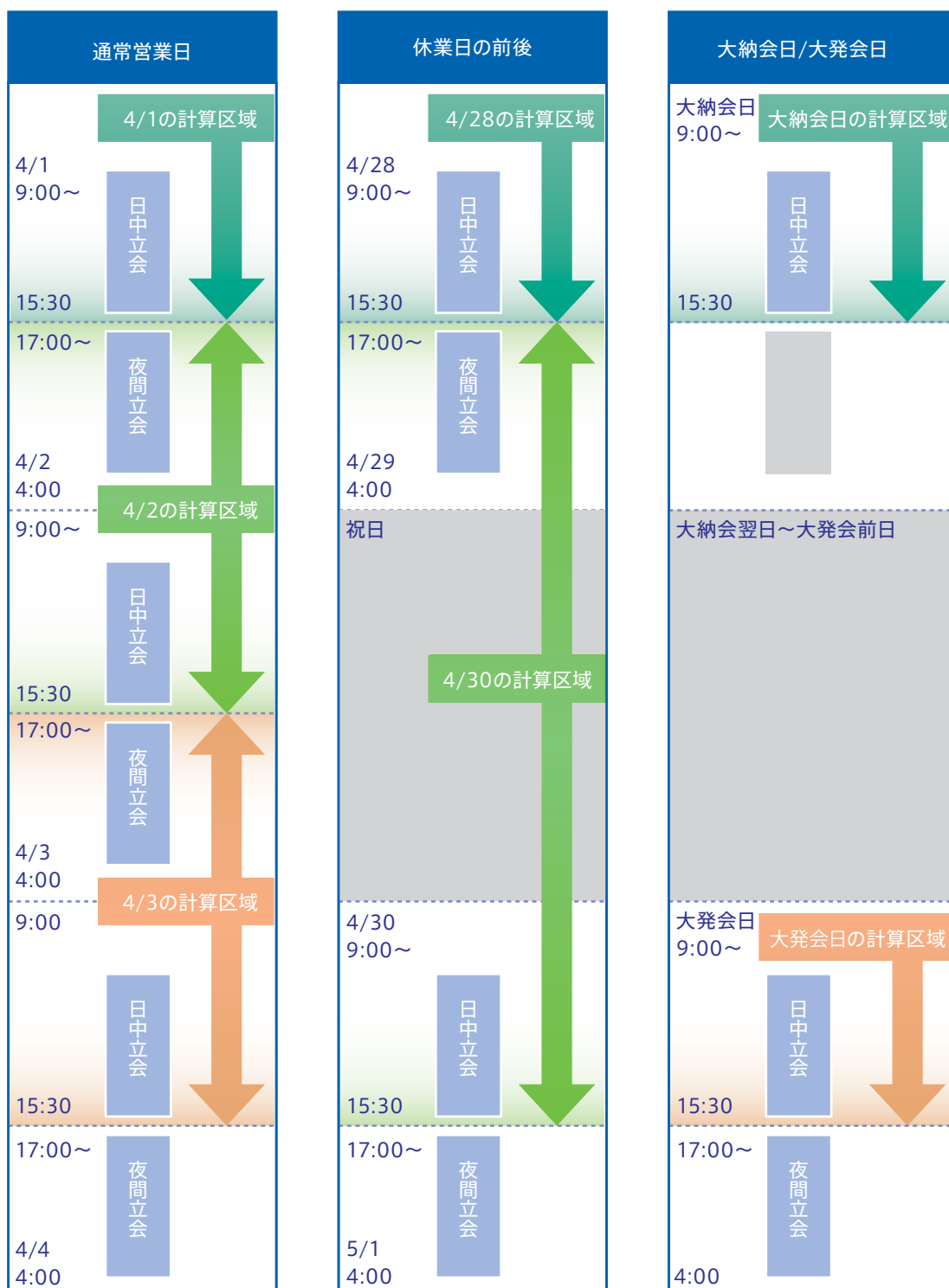
25日(木)		26日(金)		27日(土)		28日(日)		29日(月)		30日(火)	
日中	夜間	日中	夜間	-	-	-	-	日中	夜間	日中	夜間
← 26日計算区域				← 29日計算区域				← 30日計算区域			

ただし、年初の大発会日(暦年の最初の営業日)の計算区域は、当日の日中立会だけになります。これは年末の大納会日(暦年の最後の営業日)の夜間立会が行われないことによるものです。なお、大発会日の夜間立会は、翌営業日の計算区域になります。

※1：「値洗い」⇒取引所では日々帳入値段を基準に場勘定計算等を行っています。
これを値洗いといいます。一方、受託取引参加者(商品先物取引業者)では、日々委託者の取引に関する損益計算(委託者口座状況照会等)を行っていますが、これも値洗いといいます。

※2：「帳入(ちょういれ)値段」⇒P20.帳入値段の決定ルールを参照

〈計算区域のイメージ〉



- ・休日をはさむ場合は、前日の夜間立会と休み明けの日中立会が同一計算区域となります。
- ・ゴム市場の夜間立会終了時刻は19:00です。(4:00ではありません。)

2 売買仕法

売買仕法とは、取引所における取引締結方法の種類のことです。
当社が採用している売買仕法は、「板合せ仕法」と「ザラバ仕法」です。

(1) 板合せ仕法

板合せ仕法とは、取引締結を行う時点までの売買注文の中で(板)、売買注文が最も多く約定する値段を当該時点の約定値段(単一の約定値段が形成される)として約定させるものです。したがって、すべて売買注文が約定するとは限りません。

(2) ザラバ仕法

ザラバ仕法とは、立会開始の板合せ後から立会終了までの間において、売買注文の条件が対当する都度、約定させるものです。したがって、ザラバ中は複数の約定値段が形成されます。

取引の締結にあたっては、売り注文と買い注文のそれぞれに優先順位が決められ、価格面において不利な執行条件から優先されます(価格優先)。さらに、同一価格の注文間では、もっとも早く出された注文から優先されます(時間優先)。

これらの取引の締結の考え方は、「価格優先・時間優先の原則」と呼ばれ、注文執行の即時性確保に利点があります。

〈価格優先の具体例〉

- ① 高い買 Limit Order^{*1} は、安い買 Limit Orderより優先されます。
- ② 安い売 Limit Orderは、高い売 Limit Orderより優先されます。
- ③ Market Order^{*2} は、他の種類の注文に価格的に優先されます。

〈時間優先の具体例〉

- ① 同一値段の注文(価格的には同じ優先順位)は、先に受け付けられた注文が遅く受け付けられた注文より優先されます。
- ② Stop Order^{*3}は条件が満たされて登録された時間、その他の注文は売買センチに登録された時間によって時間優先の順位を判断します。

※1 :「Limit Order」価格を指定して発注する売買注文 ⇒ P11.4 売買注文を参照

※2 :「Market Order」価格を指定しないで発注する売買注文 ⇒ P11.4 売買注文を参照

※3 :「Stop Order」特定の指定した条件で発注する売買注文 ⇒ P11.4 売買注文を参照

(3) 先物取引の区分と売買仕法

現物先物取引、現金決済先物取引及びオプション取引では、「板合せ仕法」と「ザラバ仕法」を併用しています。一方、スプレッド取引は「ザラバ仕法」のみを採用しています

項	区分	売買仕法
1	現物先物取引※1 (金、銀、白金、パラジウム、ガソリン、灯油、軽油、 中京石油ガソリン、中京石油灯油、アルミニウム、ゴム)	板合せ仕法・ザラバ仕法
2	現金決済先物取引※2 (原油、金ミニ、白金ミニ)	
3	指数先物取引※3 (日経・東工取商品指数)	
4	オプション取引※4 (金先物オプション取引)	
5	スプレッド取引※5 (各商品)	ザラバ仕法

※1：「現物先物取引」当該商品の現物の受渡制度がある先物取引。

※2：「現金決済先物取引」当該商品の現物の受渡制度がなく、最終決済日において自動的に建玉の決済が執行される先物取引。

※3：「指数先物取引」特定の指数を取引対象とした先物取引で、受渡決済がない。当社では、当社の上場商品を指数化した「日経・東工取商品指数」を取引対象としている。

※4：「オプション取引」当該商品の権利の売買で、買い付ける権利の売買であるコールオプション取引と、売り付ける権利の売買であるプットオプション取引とがある。

※5：「スプレッド取引」複数の対象物の価格差(値鞘)の変化を利用し、利益を得ることを目的とした取引の通称。当社では、同一商品の限月間における値鞘の変化を利用する限月間スプレッド(カレンダー・スプレッドともいう)を可能とする、“スタンダードコンビネーション注文”(略称 SCO: Standard Combination Order)を提供している。⇒P11.4 売買注文を参照

3 取引締結に関するルール

(1) 板合せ時の取引締結ルール

板合せは、立会の開始(夜間立会、日中立会)時およびサーキットブレーカー^{※1}発動後の一定時間注文を受け付けた後(立会再開時)に行われます。

注文を受け付けた後、立会開始または立会再開時に売買注文が対当(売買注文が約定可能な状態)しており、かつ、Limit Order(LO)がある場合には、板合せにより以下の条件に従って売買注文の約定が成立し、約定値段が決定されます。ただし、Market Order(MO)のみで売買注文が対当している場合は約定されず、MOはキャンセルされます。

約定条件が Fill and Store (FaS)^{※2}である未成立の注文は「ザラバ」に移行します。なお、MOはFaSを指定することはできません。

(2) 板合せ時の取引締結の条件

条件1: Limit Orderが存在する値段で、約定数量が最大となる値段。

条件2: 条件1において、約定数量が最大となる値段が複数ある場合は、当該値段で未約定となる数量が最少となる値段。

条件3: 条件2において、未約定となる数量が最少となる値段が複数ある場合は、有利な値段(価格優先)のLimit Orderが未約定とならない値段。

条件4: 条件3において、当該値段が複数ある場合は、当該値段の間において、「参考価格」に最も近い値段。

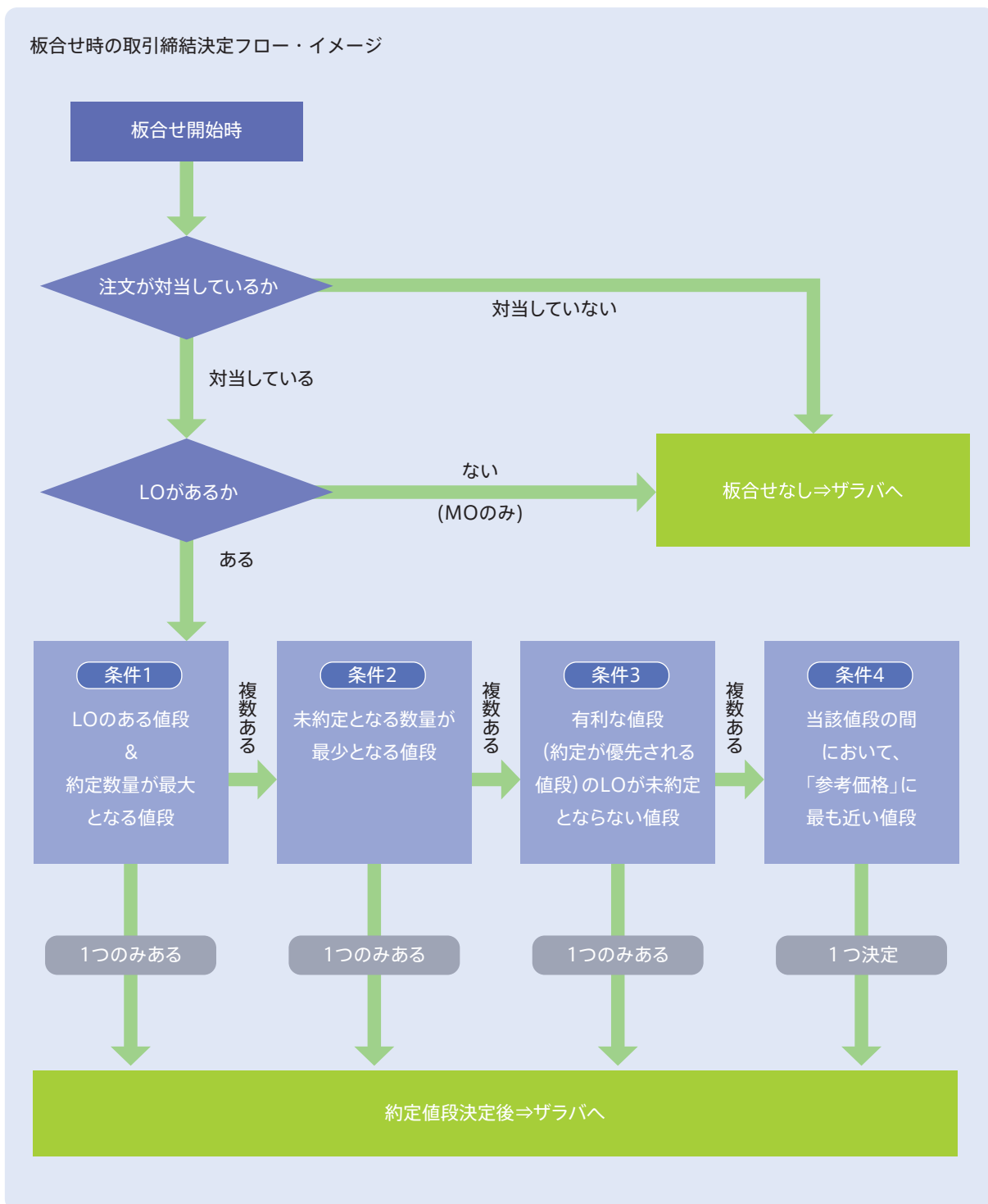
(3) 板合せ時の取引締結における参考価格

- ① 夜間立会開始時は、前計算区域の帳入値段。
- ② 日中立会開始時および立会再開時は、同一計算区域の直近の約定値段。当該約定値段がない場合は前計算区域の帳入値段。
- ③ 新甫発会限月の最初の立会開始時は「0(ゼロ)」。

※1: 「サーキットブレーカー」(Circuit Breaker: CB) 1日の中での固定的な値幅制限を設けず、あらかじめ設定したCB値幅外の価格で注文が対当した場合に、一定時間、立会を中断し、その後CB値幅を拡張して立会を開する仕組み。⇒ P17.5 サーキットブレーカーを参照

※2: 「Fill and Store (FaS)」注文受付時に約定成立が可能な数量は約定させ、残枚数は指定した有効期限まで注文が有効(板に残る)。⇒ P11.4 売買注文を参照

板合せ時の取引締結決定フロー・イメージ



<条件1で約定値段が決定する例>

売		価格	買	
枚	計		計	枚
	40	103		
20	40	102	40	40
	20	101	50	10
20	20	100	50	
		99	60	10

- 条件1** LO注文のある値段（102円・101円・100円・99円）のうち、102円が約定数量が最大となる値段。
したがって、102円が約定値段と決定し40枚が約定成立する。

<条件2で約定値段が決定する例>

売		価格	買	
枚	計		計	枚
	40	103	20	20
	40	102	20	
20	40	101	20	
	20	100	30	10
	20	99	30	
	20	98	20	

- 条件1** LO注文のある値段（103円・101円・100円）のうち、103円・101円・100円で約定数量が最大となる値段が複数ある。
- 条件1** 103円・101円は20枚が残るが、100円は残枚数が10枚で最小枚数となる。したがって、100円が約定値段として決定され20枚が約定成立する。

<条件3で約定値段が決定する例>

売		価格	買	
枚	計		計	枚
	20	103		
	20	102	30	30
	20	101	30	
	20	100	30	
20	20	99	30	
		98	30	

- 条件1** LO注文のある値段（102円・99円）のうち、102円・99円で約定数量の最大となる値段が複数ある。
- 条件2** 102円・99円とも10枚の残枚数がある。
- 条件3** 99円ではそれよりも有利な価格の102円買が10枚残るが、102円では有利な価格は残らない。したがって、102円が約定値段として決定され20枚が約定成立する。

<条件4で約定値段が決定する例>

売		価格	買	
枚	計		計	枚
	30	103		
10	30	102	20	20
	20	101	20	
	20	100	20	
20	20	99	30	10
		98	30	

- 条件1** LO注文のある値段のうち、102円・99円で約定数量の最大となる値段が複数ある。
- 条件2** 102円・99円ともに10枚残る
- 条件3** 102円・99円ともに有利な価格は残らない
- 条件4** 参考価格が100円の場合、100円が約定値段として決定され20枚が約定成立する。

(4) ザラバ時の取引締結ルール

ザラバ時においては、新たな売買注文を受け付けた時点、または Stop Orderが条件を満たした時点等に売買注文が対当していれば、即時に約定が成立します。

約定成立に伴う枚数の割当方法については、「価格優先・時間優先の原則」に従います。

<ザラバ時の約定イメージ>

※ 売/買の注文枚数は、累計枚数を記載しています。

買Limit Order (FaS) を102円で30枚発注した場合

実際の注文状況			10本気配値		
売	価格	買	売	価格	買
25	103		5	103	
20	102			102	10
15	101			101	10
10	100			100	10
5	99			99	10
	98			98	10
	97	5		97	15

補足説明

99,100,101,102円で各5枚ずつの約定成立となる(合計20枚約定)。

この結果、約定条件が FaSであることから、残枚数10枚は、102円に残ることになる。

買Limit Order (Fok) を102円で30枚発注した場合

実際の注文状況			10本気配値		
売	価格	買	売	価格	買
25	103		5	103	
20	102			102	
15	101			101	
10	100			100	
5	99			99	
	98			98	
	97	5		97	5

補足説明

99,100,101,102円で各5枚ずつの約定成立となる(全量20枚約定)。

この場合、約定条件が FoK以外の FaSや FaKであっても、この事例では、同様の約定結果となる。

(5) 売買システム支障時における売買約定の取り消しについて

当社は、売買システムの稼働に支障が生じた場合において、当社が必要と認めた場合に、売買約定の全部または一部を取り消すこと、およびこれに伴う所要の処置を行うことがあります。

4 売買注文

(1) 売買注文の種類と約定条件

当社が提供する売買注文は7種類あります。この売買注文に約定条件の指定を組み合わせることにより、多様な注文形態を構築することができます。発注の際は、売買注文の種類と約定条件を指定する必要があります。

なお、受託取引参加者(商品先物取引業者)の方針により、当社が提供する売買注文の一部のみを取り扱う場合、あるいは受託取引参加者独自の注文形態を構築する場合がありますので、売買注文の種類等については、ご留意願います。

売買注文の種類	略称	日本語名称	約定条件	補足
Limit Order	LO	リミット注文	FaS,FaK,FoK	
Market Order	MO	マーケット注文	FaK,FoK	全量約定の保証なし
Market To Limit Order	MTLO	マーケット・トゥー・リミット注文	FaS,FaK,FoK	
Best Limit Order	BLO	ベスト・リミット注文	FaS	
Stop Order	SO	ストップ注文	⇒	LO、MO等の指定+各種類の約定条件を指定
Standard Combination Order	SCO	スタンダード・コンビネーション注文	⇒	LO、MO等の指定+各種類の約定条件を指定
Non-Standard Combination Order	NSCO	ノン・スタンダード・コンビネーション注文	FoK	LO、MO、SCOの指定が可

約定条件	略称	説明
Fill and Store	FaS	受け付け時に約定可能な数量は約定、残枚数は指定した有効期限まで板(Order Book)に残る。 《有効期限の指定方法》 ①当該セッション限り ・日中立会に発注した場合は、その日中立会終了まで有効 ・夜間立会に発注した場合は、その夜間立会終了まで有効 ②N日後(N=<255日) ③納会日(取引最終日)
Fill and Kill	FaK	受け付け時に約定可能な数量は約定、残枚数はすべてキャンセル
Fill or Kill	FoK	全量約定か全量削除

(注) 当社システムでは、有効期限が指定された売買注文を受け付けた場合、その有効期限までは当社システム内で有効な(約定できる)売買注文として取り扱われます。

(2) 各売買注文

1) Limit Order (略称は LO) 【FaS・ FaK・ FoKのいずれかを指定】

価格を指定して発注する売買注文であり、売注文であれば指定価格以上で約定し、買注文であれば指定価格以下で約定します。

2) Market Order (略称は MO) 【FaK・ FoKのいずれかを指定】

価格を指定しないで発注する売買注文であり、対当する注文があれば即時約定しますが、対当する注文がない場合、残注文はキャンセルされます。

板合せ時においても同様に、対当する注文があれば約定しますが、対当する注文がない場合、残枚数はキャンセルされます。

3) Market To Limit Order (略称は MTLO) 【FaS・ FaK・ FoKのいずれかを指定】

価格を指定しないで発注する売買注文であり、受け付け時の注文状況(板状況)に応じて、次のとおり取り扱われます。

- 反対サイドに気配(売注文であれば買気配、買注文であれば売気配)がある場合は、その最良気配価格の Limit Orderとして約定します。
- FaSを指定したときにおいて、一部約定したときの残枚数は、当該価格の Limit Orderとして登録されます。
- FaSを指定したときにおいて、約定(対当)しないときは、同サイドの最良気配値よりも1ティック有利な価格の Limit Orderとして登録されます。
- 両サイド(売・買)に気配がないときは、キャンセルされます。


		①					②				
		売		価格	買		売		価格	買	
枚	計	枚	計	枚	枚	枚	計	枚	枚	枚	計
①買 MTLO50枚を FaSで発注		30	40	101		30	30	101			
②反対サイドの最良気配値(100円)の買 LOとして登録され、100円で10枚が約定、残り40枚が板に残る。		10	10	100				100	40	40	
				99				99	40		
				98	20	20		98	60	20	
				97	20			97	60		
①買 MTLO50枚を FaSで発注				101				101			
②反対サイドに気配がないため、同サイドの最良気配値(98円)よりも有利な99円の買 LOとして板に登録される。				100				100			
				99				99	50	50	
				98	20	20		98	70	20	
				97	20			97	70		

4) Best Limit Order(略称は BLO)【FaSのみ指定可能】

価格を指定しないで発注する売買注文であり、受け付け時の同サイド(売または買)の最良気配値と同一価格の Limit Orderとなります。先に発注されていた同一価格の Limit Orderより後に同価格へ発注したことになるので、時間優先の原則に従い、約定優先順位は「1位」ではありません。同サイドに気配がないときは、キャンセルされます。

①買BLO50枚をFaSで発注
②同サイドの最良気配値(98円)と同値の98円の買LOとして板に登録される。

売		買		
枚	計	価格	計	枚
30	40	101		
10	10	100		
		99		
		98	20	20
		97	20	



売		買		
枚	計	価格	計	枚
30	40	101		
10	10	100		
		99		
		98	70	20+50
		97	70	

5) Stop Order(略称は SO)【有効期限の指定不可(当該セッションに限り有効)】

発注する際に、特定注文(LO、MO、MTLO、BLO、SCO)が有効となる条件を指定できる注文です。

- 指定した条件を満たさない場合は、当該セッション終了後に失効されます。
- 指定した条件を満たした場合は、特定した売買注文が発注されます。

具体的には、条件を指定する限月(シリーズ)の

- 直近約定値段が指定値段と同値かそれ以下(以上)
- 売気配値または買気配値が、指定値段と同値かそれ以下(以上)となった時点(=条件を満たした時点)で、特定注文が発注されます。

なお、条件を指定する限月(シリーズ)と、条件を満たした場合に特定注文が発注される限月(シリーズ)は、同一商品同一限月に限らず、同一市場内の指定も可能です。

例:

- 金4月限の直近約定値段が2,000円以下になった場合に金4月限に売MOを発注する。
- 金4月限の売気配値が2,300円以下になった場合に金6月限に買MOを発注する。
- ガソリン4月限の買気配値が47,000円以上になった場合に灯油4月限に買60,000円のLOを発注する。
- ガソリン4月限の直近約定値段が45,000円以上になった場合に原油8月限に買MOを発注する。

- ① 直近約定価格が98円の限月に対し、約定価格が100円以上になったら99円の買LOを5枚発注するSOを発注。
- ② 同限月に100円買いLO10枚が発注され、100円で約定。
- ③ SOの条件が満たされたので、99円の買いLO5枚が発注される

売		買		
枚	計	価格	計	枚
30	40	101		
10	10	100		
		99		
		98	20	20
		97	20	

売		買		
枚	計	価格	計	枚
30	40	101		
10	10	100	10	10
		99	10	
		98	30	20
		97	30	

売		買		
枚	計	価格	計	枚
30	30	101		
		100		
		99	5	5
		98	25	20
		97	25	

6) Standard Combination Order (略称は SCO) 【発注時の売買注文の指定に従う】

同一商品の異なる2つの限月の鞘価格 (期近限月と期先限月の価格差=期近一期先)を指定して、1注文として発注できる売買注文であり、売りまたは買いを指定し、売注文であれば指定鞘価格以上で約定し、買注文であれば指定鞘価格以下で約定します。順鞘の場合は値段はマイナス、逆鞘の場合はプラス、同鞘の場合は「0(ゼロ)」になります。

売注文とは期近売 / 期先買の組合せ、買注文とは期近買 / 期先売の組合せです。

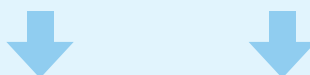
金4月限の買い建玉10枚を、順鞘価格20円以内で金8月限にロールオーバー (乗り換え) するための発注をSCOで行った例。

売		買		
枚	計	価格	計	枚
		-18		
		-19		
		-20		
		-21		
		-22		

売		買		
枚	計	価格	計	枚
		102		
		101		
		100	5	5
		99	5	
		98	5	

売		買		
枚	計	価格	計	枚
	5	122		
	5	121		
5	5	120		
		119		
		118		

- ① 金4月限に100円の買LO5枚、金8月限に120円の売LO5枚の気配がある中
金4月限 / 8月限SCO (スプレッド板) 「-20円売」10枚をFaSで発注。



* 図中の価格帯は実際の相場と異なります。

② 金4月限／8月限

売		価格	買	
枚	計		計	枚
	5	-18		
	5	-19		
5	5	-20		
		-21		
		-22		

金4月限

売		価格	買	
枚	計		計	枚
		102		
		101		
		100		
		99		
		98		

金8月限

売		価格	買	
枚	計		計	枚
		122		
		121		
		120		
		119		
		118		

- ② 金4月限の100円買LO5枚と金8月限120円売LO5枚の組合せが鞘価格「-20円」を満たすことから、双方と約定。10枚のSCOで未約定の5枚の売SCOがスプレッド板に残る。

* 図中の価格帯は実際の相場と異なります。

7) Non-Standard Combination Order(略称はNSCO)【FoKのみ指定可能】

同一市場内の任意の2限月における合算価格(買いの値段は「+」、売りの値段は「-」として合算)を指定して、1注文として発注できる売買注文であり、合算価格を満たせば、任意の2限月が同時に約定します。

- ① 金4月限1枚買と白金4月限1枚買の組合せをNSCOで「220円」で発注。

売		価格	買	
枚	計		計	枚
	10	102		
	10	101		
10	10	100		
		99		
		98		



白金4月限

売		価格	買	
枚	計		計	枚
	5	122		
	5	121		
5	5	120		
		119		
		118		

- ② 金4月限1枚が100円、白金4月限1枚が120円で約定。

売		価格	買	
枚	計		計	枚
	9	102		
	9	101		
9	9	100		
		99		
		98		



白金4月限

売		価格	買	
枚	計		計	枚
	4	122		
	4	121		
4	4	120		
		119		
		118		

* 図中の価格帯は実際の相場と異なります。

(3) 売買注文の取消しおよび訂正

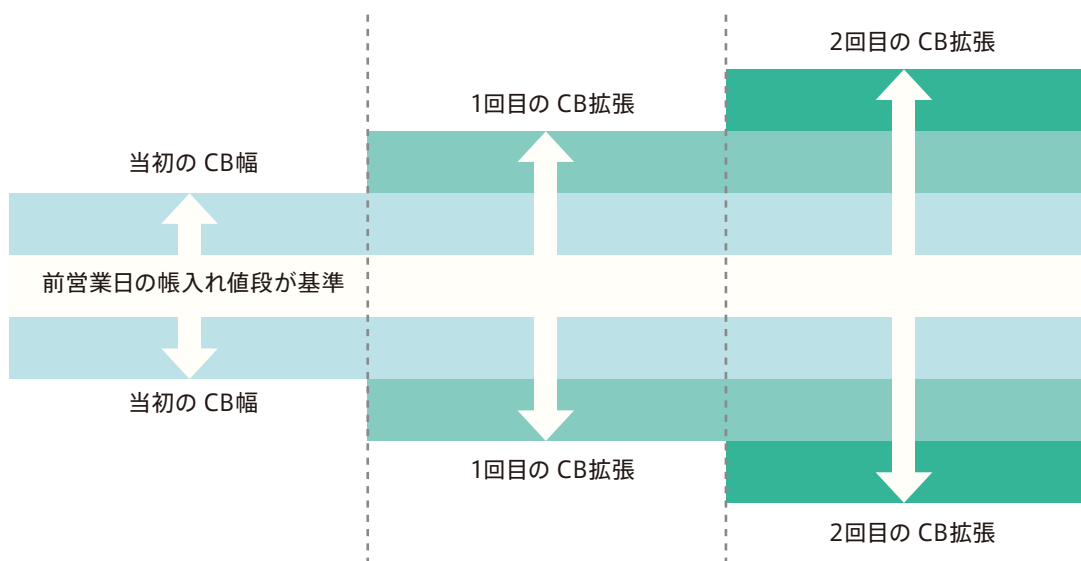
すでに発注済みの注文を取消しできる他、個々の注文ごとに約定条件、有効期限および発注枚数等を訂正することができます。この訂正を行う場合、訂正する項目によっては、注文優先順位(約定の優先順位)を引き継ぎます。

訂正内容	時間優先順位	
枚数削減	○	5枚を 3枚に減らすなどの枚数変更は時間優先順位を引き継ぐ。
枚数増加	×	3枚を 5枚に増やすなどの枚数変更は時間優先順位を引き継がない。
価格訂正	×	価格の変更は時間優先順位を引き継がない。
有効期限の変更	○	FaS注文の有効期限の延長および短縮は、時間優先順位を引き継ぐ。

5 サーキットブレーカー制度

(1) サーキットブレーカー制度(Circuit Breaker: CB)

サーキットブレーカーとは、1日の中での固定的な値幅制限を設けず、あらかじめ設定した CB 値幅外の価格で注文が対当した場合に、一定時間、立会を中断し、その後 CB 値幅を拡張して立会を再開する仕組みのことです。



(注) 中断中は、新規・訂正・取消注文は受け付けますが、約定はしません。

(2) サーキットブレーカー制度の運用

CBの値幅は、1計算区域の始めとなる夜間立会開始時(17:00)に、前計算区域の帳入値段(新甫限月の場合は、隣接限月の帳入値段)を基に設定されます。立会開始後(板合せ時含む)に、CB幅外の価格で注文が対当した場合は、当該注文を即時に約定成立させずに5分間立会を中断し、注文受付状態とするとともにCB幅を拡張します。その後、板合せによって立会を再開します。日中立会や夜間立会の立会終了5分前以降(15:25以降または3:55以降)にCBが発動した場合には、再開されずに、立会終了時刻となった時点でその立会が終了します。

(3) サーキットブレーカー制度の運用表

CB発動タイミング等	発動後の運用
板合せ時刻到来時 (9:00および 17:00)	【基本例】 ①CB幅外で対当した直後から、立会を中断。 ②CB幅を自動的に拡張・注文受付状態となる。 ③一定時間経過後に、板合せにより立会再開。 ④その後、通常のザラバとなる。
ザラバ時	
日中立会の終了間際	・基本例③の立会再開前に、立会終了時刻を迎えた場合は、立会終了となる。
夜間立会の終了間際	・基本例②で拡張されたCB幅は、その後の日中立会に引き継がれる。 基本例③の立会再開前に、立会終了時刻を迎えた場合は、立会終了となる。
同一計算区域で 2回目の発動	・基本例と同じ。(自動拡張幅が2回分拡張される)

(4) サーキットブレーカー幅の拡張方法

当社は、事前に「当初のCB幅」を当社ウェブサイト等にて公表しています。

例:○年△月分についての発表

商品名	当初のCB幅
金	150円(ミニ、オプション含む)
銀	6.0円
白金	200円(ミニ含む)
パラジウム	100円
アルミニウム	10.0円
ガソリン	2,400円
灯油	2,400円
軽油	2,400円
原油	2,400円
中京石油ガソリン	2,400円
中京石油灯油	2,400円
ゴム	5.0円
日経・東工取商品指数	15.0ポイント

【公表例】

- ① 1回目、2回目および3回目のCBが発動したときは、CB発動時刻から5分間立会を中断し、また、立会再開時はCB幅を拡張し(直前のCB幅に拡大値幅を加算した幅とする)、立会を開始します。
- ② 4回目以上のCBを発動したときは、CB幅を拡張せず(例: 金600円のまま)、CB発動時刻から5分間中断した後、立会を開始します。ただし、当社が必要と認めるときは、中断時間および拡大値幅を変更することがあります。

例: 金の場合

1回目のCB発動後=150円(当初値幅)+150円(拡大値幅)=300円

2回目のCB発動後=300円(直前のCB幅)+150円(拡大値幅)=450円

3回目のCB発動後=450円(直前のCB幅)+150円(拡大値幅)=600円

6 帳入値段の決定ルール

(1) 帳入値段の設定

当社は、毎計算区域における取引や建玉に対する場勘定計算等のための基準となる値段を設定しています。これを「帳入値段」といいます。帳入値段は、あくまでも場勘定計算等のための基準値段ですから、実際の終値や成立値段そのものではありません。

帳入値段の決定は、当社が算出した値段を(株)日本商品清算機構(JCCH)に通知し、同社が定めます。帳入値段が算定できない場合は、市況等を勘案して当社が算出し、JCCHにこれを通知し、JCCHが決定します。

(2) 当社が算出する帳入値段(*帳入指数)

項	区分	通常日	納会日(取引最終日)
1	現物先物取引	算出基準時間帯における VWAP※1	同左
2	現金決済	原油	算出基準時間帯における VWAP※1
3	先物取引	ミニ	各標準品の帳入値段と同値
4	指数先物取引*	算出基準時間帯における VWAP※1	最終取引日の日中立会の原商品始値に基づく指数値
	指数先物取引*(限日)	原商品の帳入値段に基づく指数値	
5	オプション取引	理論値	

※1：「VWAP」とは、Volume Weighted Average Price(出来高加重平均価格)の略称。

7 相場情報の配信等

(1) 気配値情報(10本気配値)

当社は、売気配値と買気配値をそれぞれ最大で10本ずつ配信しています。10本気配値の情報には各気配値段における売買注文の枚数も含まれており、リアルタイムに把握することが可能です。

なお、注文受付開始から板合せ時刻到来時までの間は、約定予定値段より有利な注文の枚数は、その値段における枚数として累計された情報が配信されますが、Market Order(MO)のみの場合は、10本気配値の値段情報は配信されません。

(注) 実際の見え方は、受託取引参加者(商品先物取引業者)のシステムにより異なりますので、ご留意願います。

〈10本気配値のイメージ〉

板合せ前の注文受付中で対当している場合

実際の注文状況			10本気配値		
売	価格	買	売	価格	買
5	103		5	103	
	102	5		102	
5	101		5	101	15
	100	10	15	100	
5	99			99	5
	98	5		98	
5	97			97	

※売/買の注文枚数は、各値段の枚数を記載しています。

補足説明

板合せの条件を満たしている値段が100円であることから、売、買それぞれ100円15枚(累計枚数)が10本気配の1本目として配信される。

売99円、売97円、買102円の情報は配信されない。

板合せ前で Market Order のみの場合

実際の注文状況			10本気配値		
売	価格	買	売	価格	買
5	MO	5	5	-	5

補足説明

Market Order のみの場合は、気配値は配信されないが、気配枚数は配信される。

ザラバ中の場合、または板合せ時の注文受付中で対当していない場合

実際の注文状況			10本気配値		
売	価格	買	売	価格	買
5	103		5	103	
	102			102	
10	101		10	101	20
20	100		20	100	
	99	20		99	20
	98	10		98	10
	97	5		97	5

補足説明

売は100円、101円、103円が、買は99円、98円、97円が気配値段として配信される。

102円に Limit Order がいないことから、情報として102円は配信される。

(2) 新しい情報開示

これまででは、市場取引参加者となる商社、元売、受託取引参加者(商品先物取引業者)といった当社に直接発注を行う取引参加者の取引内容(取引高・取組高)を公開しておりましたが、個別に手口が公開されることにより取引に支障を来たすなどの指摘があったこと、また、世界的にみても個社の取引内容を開示する取引所がないことから、これを取り止めました。

新取引システム稼働後より、新たに「カテゴリー別取組高(7カテゴリー・2カテゴリー)」「売買高上位10位」「取引集計表」を毎営業日において、また、毎月10日時点の「大口建玉市場占有状況」を4営業日後に開示しております。

1) 公表情報

公表情報	開示方法／公表頻度
[カテゴリー別取組高] (注1)	当社ウェブサイト／毎日(17:00頃)
[売買高上位10位] (注2)	当社ウェブサイト／毎日(17:00頃)
[大口建玉市場占有状況] (注3)	当社ウェブサイト／毎月10日の情報を4営業日後に公表
[取引集計表] 商品／限月別 取引高・取組高 シリーズ別権利行使高	当社ウェブサイト／毎日(19:00頃)

2) カテゴリー別取組高

カテゴリー別取組高	
7カテゴリー	2カテゴリー
① 市場取引参加者自己	・ 当業者 7カテゴリーの①③⑤⑦を合計 ・ 非当業者 7カテゴリーの②④⑥を合計
② 受託取引参加者自己	
③ 当業者委託	
④ 非当業者委託	
⑤ 市場取引参加者委託	
⑥ 受託取引参加者委託	
⑦ 一般・準取引参加者委託	

- 「市場取引参加者」：当社の取引参加者で、市場で自ら注文を執行できるが、自己取引に限定される。
- 「受託取引参加者」：経済産業大臣の許可を受けて、取引の委託を受けることもできる商品先物取引業者で、かつ当社の取引参加者。市場で自ら注文を執行でき、自己取引とともに委託取引も注文執行できる。
- 「一般取引参加者」：当社の取引参加者であるが、市場で自ら注文を執行することができない。したがって、「受託取引参加者」に注文を委託する。
- 「準取引参加者」：当社の準取引参加者であるが、市場で自ら注文を執行することができない。したがって、「受託取引参加者」に注文を委託する。
- 「当業者」：当該上場商品の主たる原料または材料となっている物、当該上場商品を主たる原料または材料とする物の売買等を業として行っている者

(注1) カテゴリー別・商品別の取組高

(注2) 1計算区域(前営業日の夜間立会+当日の日中立会)の売買高を商品ごとに集計し、取引参加者それぞれ上位10位(枚数を含む)の売買高を公表しています。

(注3) 毎月10日現在(休業日の場合は繰り上げ)の建玉について、市場取引参加者および受託取引参加者からの大口建玉に関する報告に従い、商品・売買別上位5、10者の建玉数および占有率を当該基準日から起算して4営業日後に公表しています。



株式会社 東京工業品取引所

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-10-7

Tel:03-3661-9191

www.tocom.or.jp/jp/